

2016年春の花粉飛散予測（第3報） 花粉シーズンまで3週間を切る！ 早めの対策を

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：縄野 克彦、以下「日本気象協会」）は、2016年1月14日（木）に全国・都道府県別の2016年春の花粉（スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ）飛散予測（第3報）を発表します。また、詳細な情報を資料「2016年春の花粉総飛散予測 第3回」として販売します。

第3報では、8都市（福岡、高松、広島、大阪、金沢、名古屋、東京、仙台）のスギ・ヒノキ花粉飛散のピーク時期を新たに発表します。また、第2報の花粉飛散数予測から花芽調査などの結果を踏まえ、飛散予測内容を更新しています。日本気象協会では、今年の花粉シーズンは2月上旬から始まると予測しているため、早めの花粉対策を行っていただくことを呼びかけていきます。

日本気象協会では、今後も花芽調査や気温予測などのデータを基に内容を更新し、今シーズン花粉対策に向けて花粉飛散予測を発表していきます。

1. 全国予測の概況

（1）飛散開始時期 -まもなく花粉シーズンスタート-

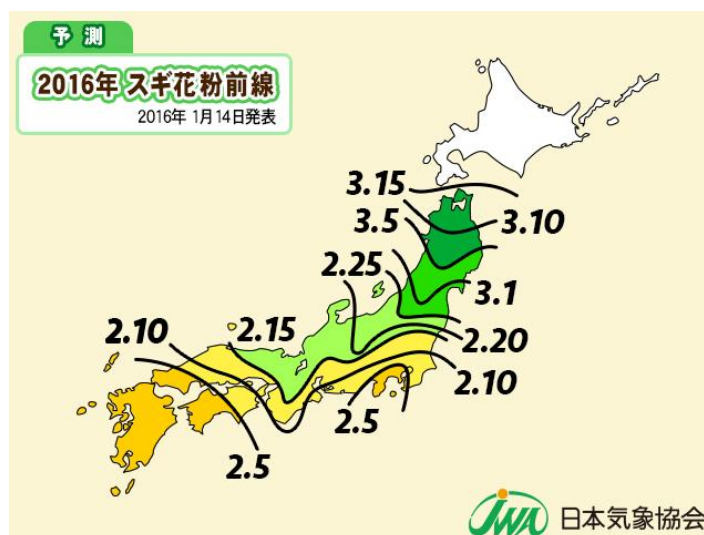
2016年春のスギ花粉の飛散開始は、西日本と東日本では例年より早いところが多く、北日本では例年並みの見込みです。2月上旬に九州・中国・四国・東海・関東地方から花粉のシーズンが始まるでしょう。

この先1月下旬にかけて、強い寒気が流れ込みやすくなる見込みです。このため、気温は平年並みか平年より低い日が多くなるでしょう。2月から3月にかけての気温は、西日本と東日本で平年並みか高く、北日本ではほぼ平年並みの見込みです。

この時期の気温が平年より高いとスギ花粉の飛散開始は早まる傾向にあることから、2016年春のスギ花粉の飛散開始は、西日本と東日本では例年より早く、北日本では例年並みでしょう。

ただし、スギ花粉は飛散開始と認められる前から、わずかながら飛び始めます。2月上旬に飛散開始が予測される地域では、そろそろ花粉対策を始めるとよいでしょう。

※飛散開始：1平方センチメートルあたり1個以上のスギ花粉を2日連続して観測した場合の最初の日



【2016年春のスギ花粉飛散開始予測 前線図】



(2) ピーク予測 -福岡では2月下旬からピーク始まる-

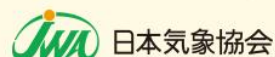
スギ・ヒノキ花粉の飛散数がピークになる時期は、花粉シーズン中の気温や予想される総飛散数と関係があると考えられます。2月と3月の気温は全国的に平年並みか高い予想ですが、ピーク時期を早めるほどではない見込みです。このため、スギ・ヒノキ花粉それぞれのピーク時期は例年並みでしょう。

スギ花粉のピークは、福岡は2月下旬から3月上旬、高松・広島・大阪・名古屋・東京は3月上旬から中旬の見込みです。金沢と仙台は3月中旬から下旬にピークを迎えるでしょう。スギ花粉のピークが終わった後は、各地でヒノキ花粉がピークを迎える見込みです。金沢と仙台は4月にヒノキ花粉が飛散しますが、飛散数が比較的少なく、はっきりとしたピークはないでしょう。

2016年スギ・ヒノキ花粉のピーク予測

2016年1月14日発表

地点	種類	2月			3月			4月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
福岡	スギ			■	■					
	ヒノキ						■			
高松	スギ				■	■				
	ヒノキ							■		
広島	スギ				■	■				
	ヒノキ							■		
大阪	スギ				■	■				
	ヒノキ							■		

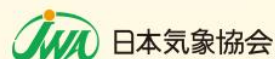


【2016年 スギ・ヒノキ花粉のピーク予測(福岡・高松・広島・大阪)】

2016年スギ・ヒノキ花粉のピーク予測

2016年1月14日発表

地点	種類	2月			3月			4月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
金沢	スギ					■	■			
	ヒノキ									
名古屋	スギ				■	■				
	ヒノキ							■		
東京	スギ				■	■				
	ヒノキ							■	■	
仙台	スギ					■	■			
	ヒノキ									

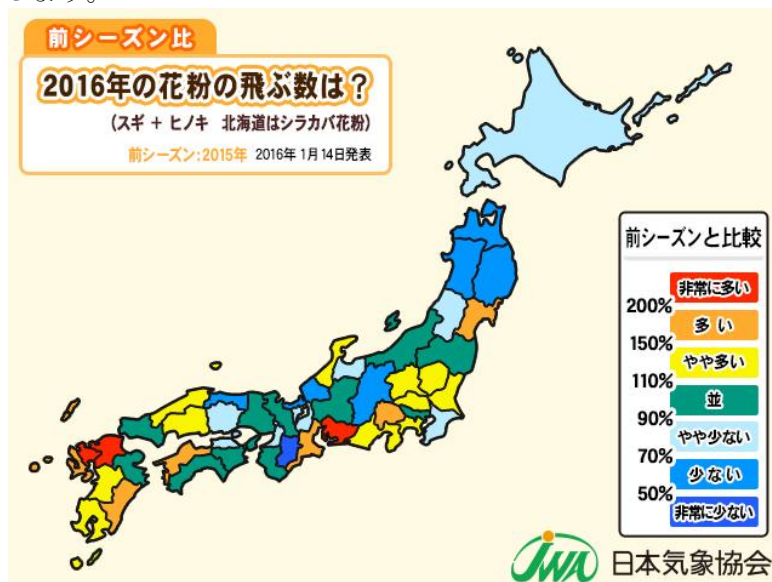


【2016年 スギ・ヒノキ花粉のピーク予測(金沢・名古屋・東京・仙台)】

(3) 飛散数予測 -西日本では前シーズンを上回る人が多い-

前シーズン比

2016年は、九州・四国・東海・関東甲信地方では前シーズンより多いかやや多く、非常に多く飛散するところもある見込みです。中国地方では前シーズン並み、近畿・北陸・東北地方と北海道ではやや少ないでしょう。

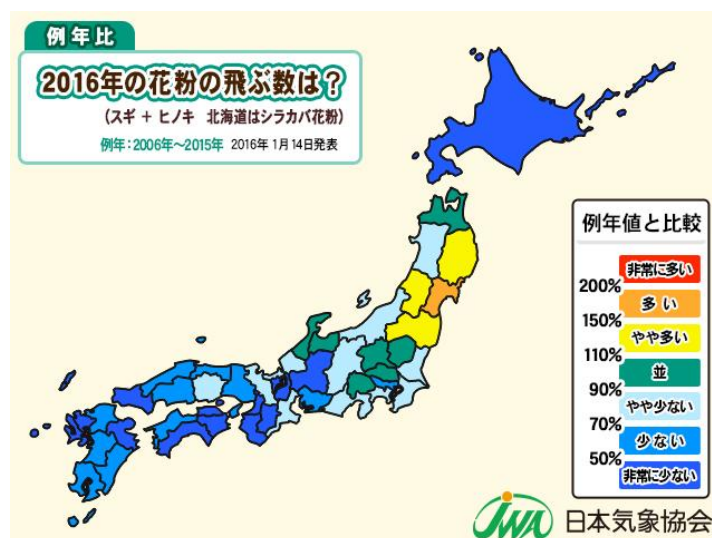


【2016年春の花粉飛散数予測（前シーズン比）】

例年比

2015年の夏は、北・東日本と西日本で大きく天候が分かれまして。北・東日本では、気温は高かったものの日照時間と降水量はほぼ平年並みとなりました。西日本では、2014年同様、低温・日照不足・多雨となり、花芽が形成されにくい気象条件となりました。

このため例年に比べると、花芽が多く形成される気象条件のそろった東北地方ではやや多い見込みです。そのほかの地域では、花粉の飛散数は例年より少ないところが多いでしょう。特に九州・四国・近畿地方と北海道では非常に少なく、例年の半分以下となる見込みです。



【2016年春の花粉飛散数予測（例年比）】



2. 地方の概況

地方	花粉種別	飛散開始時期	飛散数		2015年夏の気象
			前シーズン比 (地方平均値)	例年比 (地方平均値)	
北海道	シラカバ	-	やや少ない (80%)	非常に少ない (40%)	気温 : 平年並 日照時間 : 平年並 降水量 : 平年並
東北	スギ ヒノキ	2月下旬～3月中旬	やや少ない (80%)	やや多い (120%)	気温 : 高い 日照時間 : 平年並 降水量 : 少ない
関東 甲信	スギ ヒノキ	2月上旬～2月下旬	やや多い (110%)	例年並 (90%)	気温 : 高い 日照時間 : 平年並 降水量 : 多い
北陸	スギ ヒノキ	2月中旬～2月下旬	やや少ない (80%)	やや少ない (80%)	気温 : 平年並 日照時間 : 平年並 降水量 : かなり少ない
東海	スギ ヒノキ	2月上旬～2月中旬	やや多い (130%)	少ない (60%)	気温 : 平年並 日照時間 : 少ない 降水量 : かなり多い
近畿	スギ ヒノキ	2月中旬	やや少ない (70%)	非常に少ない (40%)	気温 : 低い 日照時間 : 少ない 降水量 : かなり多い
中国	スギ ヒノキ	2月上旬～2月中旬	前シーズン並 (90%)	少ない (50%)	気温 : 低い 日照時間 : 少ない 降水量 : 平年並
四国	スギ ヒノキ	2月上旬	やや多い (120%)	非常に少ない (40%)	気温 : 低い 日照時間 : かなり少ない 降水量 : かなり多い
九州	スギ ヒノキ	2月上旬	多い (160%)	非常に少ない (40%)	気温 : 低い 日照時間 : かなり少ない 降水量 : かなり多い

※北海道のシラカバ花粉の飛散開始時期は今後発表予定

【飛散数に関する言葉の説明】

非常に多い : 前シーズン (例年) の 200%以上
 多い : 前シーズン (例年) の 150%以上 200%未満
 やや多い : 前シーズン (例年) の 110%以上 150%未満
 前シーズン(例年)並 : 前シーズン (例年) の 90%以上 110%未満
 やや少ない : 前シーズン (例年) の 70%以上 90%未満
 少ない : 前シーズン (例年) の 50%以上 70%未満
 非常に少ない : 前シーズン (例年) の 50%未満

前シーズン : 2015年シーズン飛散数
 例年 : 過去10年(2006～2015年)の平均値

【2015年夏の気象に関する言葉の説明】

平年 : 1981～2010年の平均値



【参考情報】

2016年1月18日(月)から、天気予報専門サイト tenki.jp (<http://www.tenki.jp/>)にて、全国100地点における毎日の花粉飛散情報をお届けしますのでご案内をさせていただきます(無料)。PC/スマートフォンに対応しています。

■ アクセス方法 : <http://www.tenki.jp/pollen/>

■ 提供情報

花粉飛散情報	全国100地点の花粉飛散情報(今日・明日予報及び週間予報)を、「少ない」「やや多い」「多い」「非常に多い」の4ランクで表示します。
花粉前線	気になる各地の花粉飛び始め時期を予想し、地図上にプロットした情報です。
洗濯アドバイス	洗濯物を屋外に干すか部屋の中に干すのがよいのか、花粉の飛散状況と tenki.jp 独自のPM2.5情報を基に、今日明日の洗濯アドバイスを提供します。
日直・花粉予報士	tenki.jpの日直予報士が花粉情報を解説します。毎週2回(火・金)

■ コンテンツイメージ



PC版イメージ

スマホ版イメージ